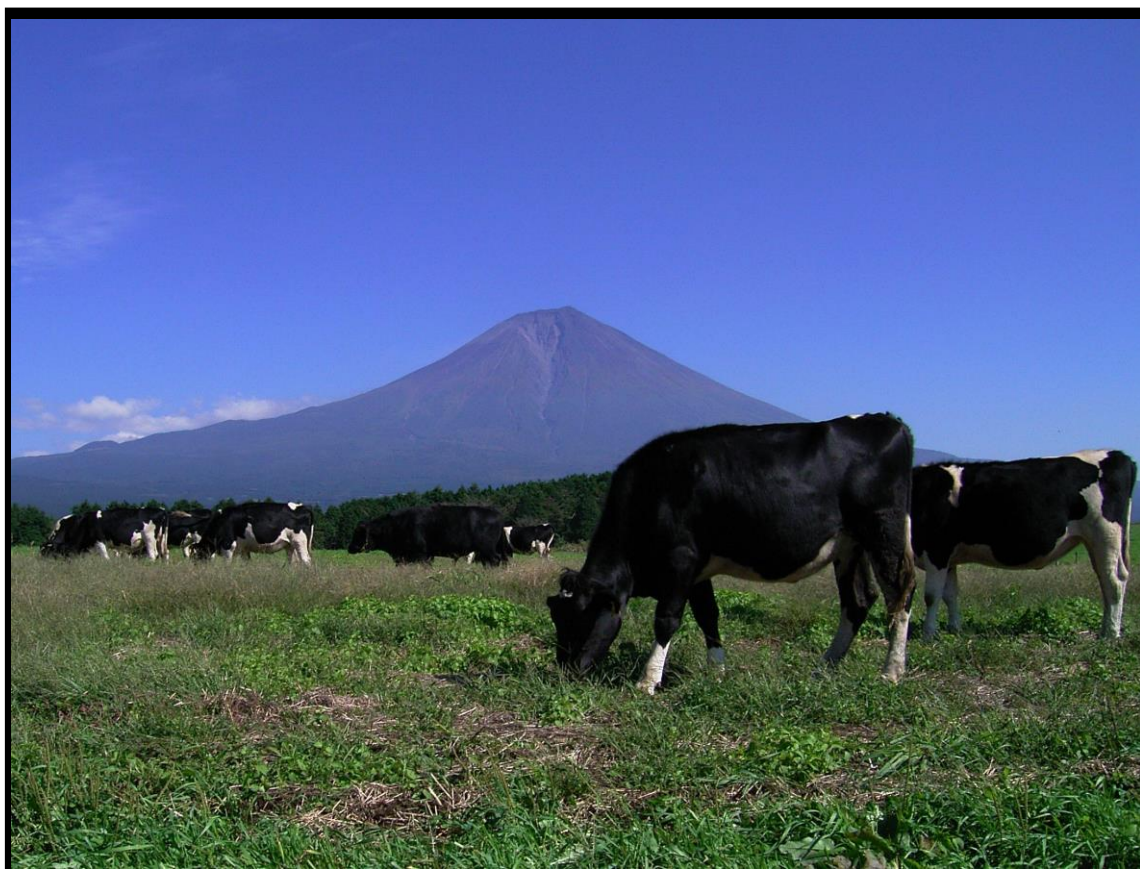


がんばる畜産を応援します



公益社団法人 静岡県畜産協会

## 公益社団法人 静岡県畜産協会のなりたち

静岡県畜産協会は、(社)静岡県家畜畜産物衛生指導協会(昭和49年4月1日設立)と(社)静岡県畜産会(昭和30年12月19日設立)が合併し、存続団体となった(社)静岡県家畜畜産物衛生指導協会の名称を(社)静岡県畜産協会として平成14年4月1日に再発足しました。

その後、平成18年3月に(社)静岡県畜産物価格安定基金協会と合併し、肉用子牛事業や肉用牛肥育経営安定特別対策事業を取り込み、畜産経営の安定のための事業を展開してまいりました。

また、平成18年4月より静岡県家畜共同育成場(天城哺乳場・放牧場)の指定管理者(再指定 平成29年4月1日から5年間)として牧場の管理と酪農の後継牛の育成業務に取り組んでおります。

一方、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律等の公益法人改革3法が公布されましたので、公益社団法人に移行することを会員の承認を得て、静岡県に移行認定申請を行い、平成24年3月27日付けをもって認定通知書が公布されましたので、平成24年4月1日に公益法人の登記と特例社団法人の解散登記を行い、公益事業の推進のための業務を行っております。

### ○ 業 務 内 容

- ・畜産経営及び技術の改善を支援する事業
- ・家畜共同育成場の管理及び牛の預託育成に関する事業
- ・肉用牛等の畜産物の価格安定補填に関する事業
- ・家畜・畜産物の生産、流通及び消費に関する調査、研究に関する事業
- ・一般消費者等への畜産と畜産物に関する各種情報の提供及び知識の普及啓発に関する事業
- ・その他協会の目的を達成するために必要な事業

### ○ 会 員 (平成30年4月1日現在)

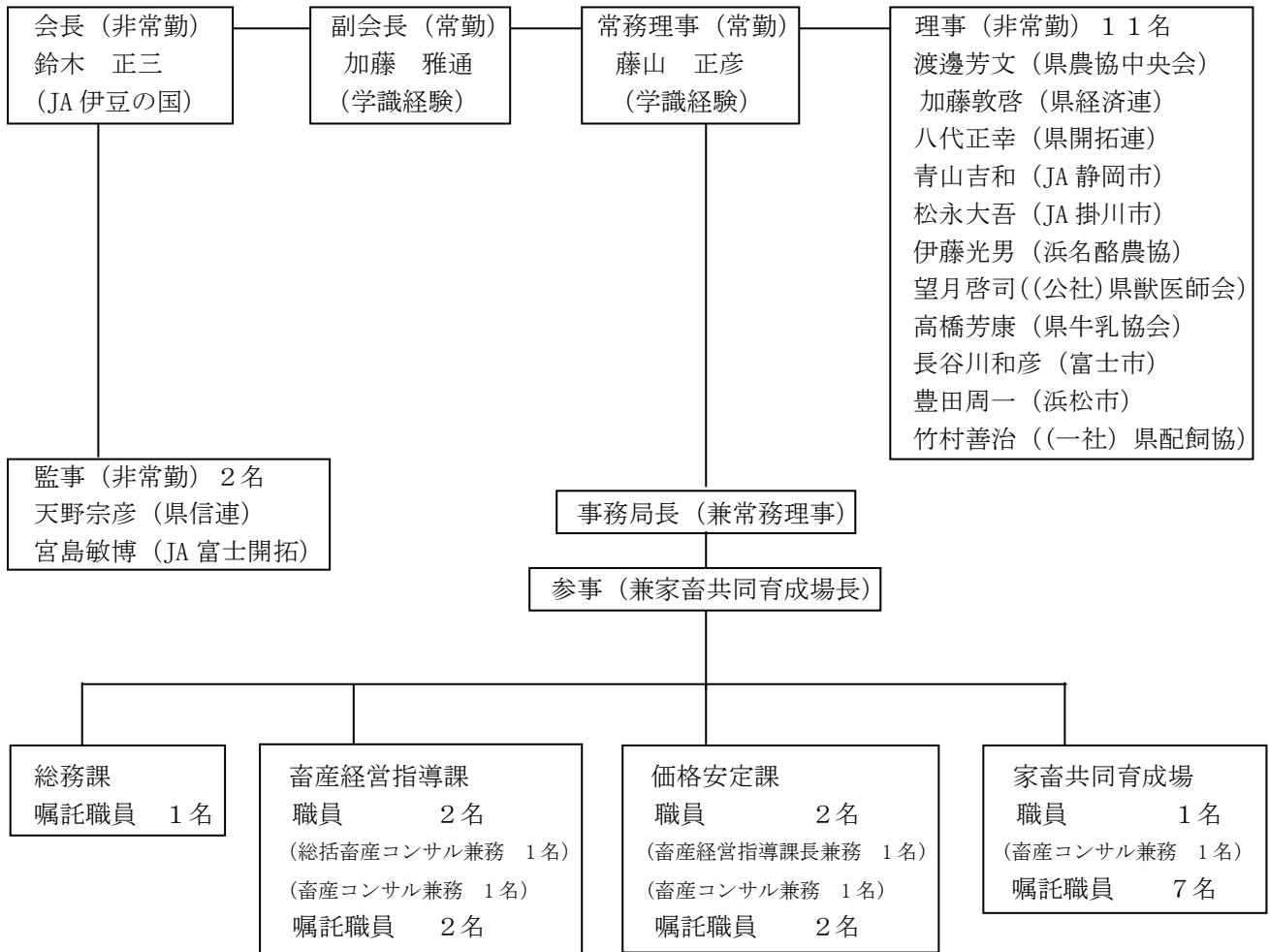
区 分	会員数	摘 要
静岡県	1	
市町	35	
県農業協同組合連合会	6	県農協中央会 県信連 県経済連 全共連静岡県本部 県農業共済連 県開拓連
県団体等	14	市長会 町村会 県獣医師会 県信用保証基金協会 県ホルスタイン協会 県養豚協会 県養鶏協会 県養蜂協会 県配合飼料基金協会 県家畜商組合 地域推協4
農業協同組合	23	
乳業会社・工場	7	
合 計	86	

### ○ 基本財産等 (平成30年4月1日現在)

区 分	金 額	摘 要
基本財産 151,940,000円	家畜衛生出資金	71,940,000円 県、市町、経済連、乳業工場
	価格安定出資金	80,000,000円 県、生産者
特定資産 363,470,000円	寄託金資産(家畜衛生、子牛)	63,470,000円 農業団体
	死亡獣畜処理円滑化基金	300,000,000円 県、市町、農業団体
合 計	515,410,000円	

○ 組織体制

(平成 30 年 6 月 5 日現在)



公 1 畜産経営技術の改善、家畜自衛防疫の普及及び畜産物の情報の提供

1 家畜衛生の推進に関する事業

①自衛防疫推進事業

家畜自衛防疫事業の円滑な推進を図るため、家畜飼養者、指定獣医師、県、市町、農業団体等関係者による自衛防疫運営委員会及び調整会議を開催するとともに、自衛防疫に関する知識の啓発や家畜衛生情報を提供する。

- ・自衛防疫推進運営委員会の開催 年 2 回 (29実績)

②家畜防疫互助基金支援事業 ((独) 農畜産業振興機構補助事業)

口蹄疫、豚コレラ等の悪性伝染病が発生した場合、国と生産者等が造成した家畜防疫互助基金により経営の支援を図るため、家畜防疫互助金交付契約の締結を推進する。契約した疾病が発生した場合は、互助契約した生産者等に対して、飼養家畜のとう汰互助金、経営支援互助金及び焼却・埋却等互助金を交付し、経営の再開を支援する。

- ・業務対象年間 (平成 27 年度から 29 年度) の家畜防疫互助基金の契約状況  
平成 30 年 3 月末の契約農家 牛 295 戸 豚 49 戸
- ・家畜防疫互助基金の発動  
対象となる家畜伝染病の発生がなかったため、発動はされなかった。

### ③家畜生産農場清浄化対策事業（農林水産省公募補助事業）

牛のヨーネ病、豚のオーエスキー病等の清浄農場の維持を図るための支援対策及び吸血昆虫の媒介を原因とする伝染性疾病等の発生・流行防止対策としてのワクチン接種を推進し、家畜の損耗防止を図る。

#### ・牛のヨーネ病清浄化推進事業

牛のヨーネ病の清浄化を推進するため、研修会を開催して普及啓発を図るとともに、県が行うヨーネ病抗体検査で陽性と診断された牛を飼養者が自主的にとう汰を行う場合、その経費の一部を補助する。

⑳実績	自主とう汰農家数・頭数	なし
㉑計画	自主とう汰農家数・頭数	2戸・2頭

#### ・牛白血病対策事業

牛白血病の感染拡大を防止するため、発生農場等での重点的な検査や共同放牧場での検査及び吸血昆虫の駆除対策等を実施する。

#### ・牛ウイルス性下痢・粘膜病（BVD-MD）対策事業

BVD-MD 発生農場等における BVD-MD 検査、持続感染牛（PI 牛）の現地評価調査、とう汰及びワクチン接種等 BVD-MD 清浄化対策の啓発・推進をした。

⑳実績	BVD-MD 検査	なし	PI 牛とう汰	8頭
㉑計画	BVD-MD 検査	2農場・60頭	PI 牛とう汰	10頭

#### ・オーエスキー病清浄種豚流通促進事業

オーエスキー病の伝播防止と県内で生産される種豚流通の円滑化を図るため、種豚生産農場における出荷豚を対象にオーエスキー病の自主的な抗体検査の推進と抗体陰性証明書を発行するとともに、種豚生産農場に対し抗体検査及び証明書の経費について助成する。

⑳実績	対象農場	0戸	抗体検査頭数	0頭	検査証明書交付件数	0件
㉑計画	対象農場	13戸	抗体検査頭数	100頭	検査証明書交付件数	50件

#### ・農場飼養衛生管理強化対策・疾病流行防止支援対策事業

生産者による飼養衛生管理向上の取組を推進・支援するための指導推進計画の作成、指導チェック表の作成、指導獣医師の認定、認定獣医師による農場指導に対しその指導費への補助を行う。

##### ○農場飼養衛生管理強化対策

⑳実績	対象農場	32戸（牛20、豚4、鶏8）	指導獣医師の指定	4名
㉑計画	対象農場	42戸（牛26、豚4、鶏12）	指導獣医師の指定	3名

##### ○疾病流行防止対策

⑳実績	アカバネ病	488頭、異常産3種混合不活化	346頭
㉑計画	アカバネ病	450頭、異常産3種混合不活化	560頭

### ④死亡牛緊急検査処理円滑化推進事業（農林水産省公募補助事業）

農場で死亡した牛の円滑かつ適正な処理と BSE の清浄性の維持を目的とした、48 ヶ月齢以上の死亡牛の BSE 検査のために、検査場所への輸送する経費等を補助する。

#### ・死亡牛検査処理安定化対策の実施

⑳実績	207戸	455頭
㉑計画	361戸	500頭

### ⑤予防接種推進事業（協会単独事業）

家畜の伝染性疾病の発生を未然に防止するため、特に畜産経営上、重要な伝染病について予防注射を実施する。

畜種	予防注射の種類	⑳実績	㉑計画
牛	イバラキ病	268頭	270頭
	流行熱・イバラキ混合不活化	124頭	130頭
	コロナウイルス病	0頭	—頭
	牛RSウイルス感染症	96頭	30頭

牛	呼吸器病 5 種混合	2,052 頭	2,200 頭
	呼吸器病 6 種混合	1,093 頭	1,090 頭
	下痢 5 種混合	834 頭	850 頭
	牛乳房炎予防注射	— 頭	50 頭
豚	豚丹毒（生）	1,175 頭	500 頭
	豚丹毒（不活化）	60 頭	300 頭
	日本脳炎（不活化）	137 頭	160 頭
	日本脳炎・パルボ感染症混合（生）	228 頭	160 頭
	豚伝染性胃腸炎・豚流行性下痢混合（生）	0 頭	50 頭

#### ⑥地域自衛防疫強化特別対策事業（(公社)中央畜産会・家畜衛生対策推進協議会受託事業）

##### ・地域自衛防疫強化推進対策

生産者等が行う初動防疫活動の有効な方策、地域特定疾病対策の啓発・普及等地域自衛防疫強化推進の検討を行う。

⑳実績 検討会の開催 2回 防疫演習の開催 2地区9か所  
移動式レンダリング装置設置・運営訓練 1回

㉑計画 検討会の開催 2回 防疫演習の開催 3地区3か所

##### ・野生獣衛生体制整備緊急対策事業

野生獣（シカ）の衛生実態を把握し、家畜への伝染病の侵入防止対策の促進を図る。

⑳実績 地域衛生技術連絡協議会 4回 調査頭数 シカ 8頭

㉑計画 地域衛生技術連絡協議会 3回 調査頭数 シカ 20頭

##### ・馬飼養衛生管理特別対策事業

馬伝染病の侵入、流行を防ぐため、馬飼養衛生管理に関する検討会を行い、競走馬以外の馬の飼養衛生管理体制の総合的な整備を進め、馬産振興を図る。

⑳実績 地域馬飼養衛生管理体制整備委員会 2回 地域馬獣医療実態調査 60戸

㉑計画 地域馬飼養衛生管理体制整備委員会 2回 地域馬獣医療実態調査 50戸

#### ⑦農場 HACCP 認証普及推進支援事業（(公社)中央畜産会委託事業）

農場 HACCP 認証制度を普及するための指導體制を整備し、普及を図るとともに、既認定農場に対して継続的な指導を実施する。

	⑳実績	㉑計画
普及推進協議会の開催	1回	2回
地域取組促進活動	1回	3回
構築指導意見交換	2回	3回
構築支援農場	2農場	3農場
認証フォローアップ農場	1農場	1農場

#### ⑧乳質改善指導事業（協会単独事業）

県内産生乳の品質向上のための乳質改善の指導を図るとともに関係機関との連携を密にし、研修会等を開催するほか、牛群データを活用した乳質改善に取り組む団体を支援する。

⑳実績 乳質優良コンテスト支援

## 2 死亡獣畜の適正な処理に関する事業（死亡獣畜処理円滑化対策事業）

畜産農家等から発生する死亡獣畜の適正かつ円滑な処理体制を確立するため、県、市町、生産者団体からの出資金等により設けられた「死亡獣畜処理基盤強化基金」を運用管理し、その運用益をもって当協会が所有する4台の死亡獣畜冷却運搬車両を産業廃棄物収集運搬業者に委託し、死亡獣畜の適正な処理を行う。

- ・死亡獣畜処理基盤強化基金の管理  
3億円（県1億円、市町1億円、農業団体1億円）を全て債券で運用
- ・基金運用益
  - ㊸実績 3,634,900円
  - ㊹計画 3,634,000円
- ・冷却運搬車両の設置場所  
富士宮市 2台（㊸導入 1台、㊹導入 1台）、浜松市 2台（㊸導入 2台）
- ・死亡獣畜運搬頭数
  - ㊸実績 乳牛 717頭、肉牛 503頭、豚 4,274頭、鶏 100羽、  
その他 23頭（馬16、山羊7）

### 3 畜産の経営及び家畜飼養管理技術の改善に関する事業

#### ①畜産振興補助事業（静岡県補助事業・地方競馬全国協会公募補助事業）

静岡県及び地方競馬全国協会の公募補助事業の補助を受け畜産経営技術指導を実施し、国・県の畜産施策を推進するとともに、畜産経営体や行政機関及び生産者団体等のニーズに応えるため次の事業を実施する。

- ・担い手の確保・強化の推進
- ・地域畜産に対する理解増進等畜産関連公益活動体制の強化
- ・補助・委託事業の実施体制の強化推進

#### ②畜産フェア開催事業（静岡県補助事業）

優良家畜・畜産物を一堂に集め、家畜の改良水準を広く示し、改良増殖の推進と飼育管理技術の向上に資するとともに、広く消費者への理解と畜産物の消費拡大を図るため「ふじのくに畜産フェア」として第57回農林水産祭参加、第91回静岡県畜産共進会を開催した。

また、平成30年度についても、「第58回農林水産祭参加、第92回静岡県畜産共進会」として、開催する。

㊸実績	乳牛の部	平成29年11月14日（火）	静岡県経済連三島常設家畜市場
	肉牛の部	平成29年12月2日（土）	浜松市食肉地方卸売市場
	種豚の部	休止	
㊹計画	乳牛の部	平成30年11月8日（木）	静岡県経済連三島常設家畜市場
	肉牛の部	平成30年12月1日（土）	浜松市食肉地方卸売市場
	種豚の部	休止	

#### ③畜産経営技術指導事業（静岡県受託事業）

静岡県が策定した新世紀ビジョンに基づき、豊かな農林水産物の安定的な供給と、農山漁村地域が持つ多面的な機能を発揮するとともに、環境に配慮した地域社会の創造に貢献する農林水産業の発展のため、認定農業者及びビジネス経営体を育成することが求められている。また、畜産においては、各種畜産振興計画及び家畜改良増殖目標に沿った指導に努めている。

本協会では、畜産関係団体と連携を密にして、畜産経営体が必要な経営・技術等の支援を行い畜産経営の向上に努めているとともに、併せて県内畜産物の消費拡大のために県民に対して畜産物の情報を広く提供する。

㊸実績	・支援指導体制の確立		
	○畜産経営体支援指導研究会 4回		
	○専門家支援チームの設置		
	総括畜産コンサルタント		1名
	畜産コンサルタント		4名
	非常勤畜産コンサルタント		7名
	合計		12名

・畜産経営技術の総合支援指導

○個別経営体指導	総合的畜産経営診断指導	4件	(酪農4件)
	担い手育成管理指導	2件	(酪農2件)
	特定生産技術改善指導	27件	(酪農22件、肉用牛3件、養豚1件、養鶏1件)
	フォローアップ指導	7件	(酪農5件、肉用牛2件)
○グループ型支援指導	地域集団生産技術指導	2集団	
	地域活動支援指導	2集団	
	畜産経営者セミナーの開催	3回	

・情報等提供整備

○ホームページによる情報提供	12回	(静岡の畜産ひろば毎月更新)
○畜産情報誌等の配布	12回	(畜産コンサルタント誌の毎月配布)

**④畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業（(公社)中央畜産会委託事業）**

・機械導入事業業務推進

機械導入事業の円滑な推進を図るため、静岡県内における推進業務、各畜産クラスター協議会から提出される参加要望書の取りまとめ等の推進業務を実施する。

⑳実績 3協議会 事業完了 延べ16件

・畜産クラスター全国推進事業に係る全国実態調査

畜産クラスターに係る取り組みを全国で推進するために必要な情報として、全国の先進的な経営体等を対象に経営実態等の調査を行う。

⑳実績 実態調査 酪農2事例

㉑計画 実態調査 大家畜2事例

**⑤酪農経営体生産性向上緊急対策事業（酪酪事業）（(公社)中央畜産会委託事業）**

・労働負担軽減事業業務推進

酪農家の働き方改革を図るために、省力化や労力負担の軽減に資する機械装置の導入を支援し、それにより生じるゆとりを活用して、飼養管理技術の高度化を図る取り組みの推進業務を実施する。

⑳実績 1応援会議 事業完了 1件

**⑥畜産特別資金等推進指導事業（(公社)中央畜産会補助事業）**

畜産経営が抱える営農負債を長期低利資金に借り換えることにより、経営再建を図るべく、経営計画の作成と継続的な見直しを要件に畜産特別資金の融資を受けた借受者に対して、関係機関が一体的に経営改善計画の樹立を図り、具体的な実行を推進指導する。

⑳実績 肉用牛経営 2戸

㉑計画 肉用牛経営 2戸

**⑦肉用牛経営安定対策補完事業（(独)農畜産業振興機構公募補助事業）**

・中核的担い手育成増頭推進

地域の中核的担い手が、計画的に優良な繁殖雌牛を増頭した場合における増頭実績に応じた奨励金の交付を行う。

⑳実績 5農協 6戸

㉑計画 5農協 7戸

・肉用牛ヘルパー推進

肉用牛経営の安定を図るため、肉用牛ヘルパー利用組合が実施する肉用牛ヘルパー活動の組織化、適正運営また肉用牛ヘルパー要員の確保、出役調整、研修会の開催及び肉用牛ヘルパー利用に係る傷病時互助制度の確立と推進活動への補助を実施する。

⑳実績 中遠肉用牛ヘルパー利用組合の育成と強化支援 参加農家数 20 戸

㉑計画 ㉑実績と同様の計画で実施

・肉用牛振興推進指導

事業を円滑に実施するための会議の開催、先進事例の調査、肉用牛ヘルパーの実態調査及び推進指導を行う。

⑳実績 会議開催 0 回 先進事例及び肉用牛ヘルパー実態調査・推進指導 13 回

㉑計画 会議開催 1 回 先進事例及び肉用牛ヘルパー実態調査・推進指導 10 回

⑧畜産近代化リース調査等指導事業（(公財)畜産近代化リース協会受託事業）

畜産近代化リース協会からリースされた機械器具等の効率的な利用を図るため、農協の協力を得て利用の実態を調査するとともに、貸付に関する需要調査・情報提供を実施する。

⑳実績 機械調査数 22 基 新規開拓調査 5 か所

⑨酪農経営支援総合対策委託事業（(一社)酪農ヘルパー全国協会受託事業）

酪農経営安定化支援ヘルパー事業の円滑な推進を図るため、ヘルパー利用組合組織運営体制等の実態調査を行う。

⑩普及広報活動（協会単独事業）

畜産経営技術指導・調査事業等に係る資料の作成・配布、中央畜産会等の優良図書の斡旋、紹介、提供を行ない普及広報に努める。

・畜産コンサルタント誌、畜産会経営情報、畜特資金指導情報

⑪馬事畜産振興推進対策

畜産関係機関・団体の協力を得て、地方競馬全国協会が実施する畜産振興補助事業の円滑な推進を図るとともに、競馬振興及び畜産物に対する認識を高める催しを開催する。

・冠レースの開催とファンサービス（静岡茶の配布）

⑳実績 平成 29 年 10 月 12 日 川崎競馬場 「静岡県馬事畜産振興賞 しずおか爽秋特別」

平成 29 年 10 月 30 日 名古屋競馬場 「静岡県馬事畜産振興賞 しずおか菊花特別」

㉑計画 平成 30 年 10～11 月に川崎競馬場、名古屋競馬場で㉑と同様に実施

4 酪農ヘルパー支援・指導に関する事業

①酪農経営安定化支援ヘルパー事業（(独)農畜産業振興機構補助事業）

・酪農家が病気・事故・出産その他の理由により、就業不能（傷病時）で酪農ヘルパーを一定期間継続的に利用した場合、また、忌引き、病気見舞い里帰り、育児サポート・研修参加については、実施要領に定められた範囲で酪農ヘルパーを利用した場合、その負担額の一部を互助制度により助成し、負担を軽減する。

・酪農ヘルパーの利用に起因して発生する財物等の破損を賠償する保険に加入する利用組合に対し、掛金の一部を助成する。

・酪農ヘルパー要員の住宅、通勤手当の一部を助成する。

・酪農ヘルパーを活用した生産基盤及び利用組合運営の強化のための事業を実施する。

⑳実績 傷病時等互助制度 6 利用組合 延べ 23 人 延べ 426 日

インターンシップの実施 参加者 5 人

②ふじのくに酪農経営安定化支援ヘルパー事業（静岡県補助事業）

（独）農畜産業振興機構の補助事業である酪農経営安定化支援ヘルパー事業で実施する事業メニューのうち、酪農ヘルパーの人材育成、酪農ヘルパー利用組合の強化等のための事業における利用組合負担に対する一部を助成する。





### 公3 家畜及び畜産物の価格差補填事業

#### 1 肉用子牛事業（肉用子牛生産者補給金制度）

##### ①肉用子牛生産者補給金の交付

肉用子牛生産安定等特別措置法に基づき、協会と契約生産者との契約を締結し、補給金の交付を行い、肉用子牛の再生産のための支援を行う。

- ・第6業務対象年間 平成27～31年度
- ・補給金交付契約締結状況（第6業務対象年間） 個人51戸、法人10戸 計61戸
- ・肉用子牛保証基準価格、合理化目標価格 (単位：円/頭)

区 分	平成29年4月1日～平成30年3月31日		平成30年4月1日～平成31年3月31日	
	保証基準価格	合理化目標価格	保証基準価格	合理化目標価格
黒毛和種	339,000	282,000	341,000	284,000
褐毛和種	309,000	259,000	311,000	261,000
その他肉専用種	221,000	150,000	222,000	151,000
乳用種	136,000	93,000	141,000	98,000
交雑種	210,000	152,000	216,000	158,000

- ・平均売買価格 (単位：円/頭)

区 分	H28年度第4四半期	H29年度第1四半期	H29年度第2四半期	H29年度第3四半期
黒毛和種	851,400	809,400	754,800	773,400
褐毛和種	777,600	724,200	691,300	687,100
その他肉専用種	360,200	356,900	228,500	238,200
乳用種	213,800	214,300	236,300	252,100
交雑種	419,300	396,700	361,100	390,000

- ・平成29年度生産者積立金造成状況 (単位：円、頭)

品 種	契約肉用子牛頭数	生産者積立金単価	生産者積立金積立額	負 担 区 分		
				農畜産業振興機構	静岡県	生産者
黒毛和種	121	1,200	145,200	72,600	36,300	36,300
褐毛和種	0	4,600	0	0	0	0
その他肉専用種	5	12,400	62,000	31,000	15,500	15,500
乳用種	395	6,400	2,528,000	1,264,000	632,000	632,000
交雑種	1,486	2,400	3,566,400	1,783,200	891,600	891,600
合 計	2,007	—	6,301,600	3,150,800	1,575,400	1,575,400

- ・生産者補給金交付状況 (単位：頭、円)

区 分	H28年度第4四半期		H29年度第1四半期		H29年度第2四半期		H29年度第3四半期		合 計	
	頭数	金 額	頭数	金 額	頭数	金 額	頭数	金 額	頭数	金 額
黒毛和種	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
褐毛和種	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他肉専用種	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
乳用種	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
交雑種	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

**②肉用牛繁殖経営支援事業（(独) 農畜産業振興機構補助事業）**

肉用牛の繁殖は、子牛出荷までの生産期間が長いこと、資本回転率が低く多額の運転資金を必要とし、また、子牛価格の変動により経営が不安定になりやすい。このため、肉用子牛生産者補給金制度を補完するために、四半期ごとの子牛平均売買価格が発動基準を下回った場合に、販売若しくは自家保留した肉用子牛に対し発動基準との差額の3/4の支援金を交付する。

②実績 交付頭数 5頭 交付品種 その他肉専用種 交付額 260,700円

**③補給金制度運営適正化事業（(独) 農畜産業振興機構補助事業）**

肉用子牛生産者補給金制度の適正かつ円滑な実施体制の確保を図るとともに、肉用子牛生産者補給金の交付事務処理の高度化を図る。

**④運営体制支援事業（(独) 農畜産業振興機構補助事業）**

肉用子牛生産者補給金制度を行う指定協会は、基本財産の運用益を制度の運営経費に充当する仕組みになっているが、近年の金利低下により運用益だけでは、制度の維持が困難となっている。このため、この制度を運営するための事業費を確保するために、必要な補助金の助成を受けて運営する。

**2 肉用牛肥育経営安定特別対策事業**

**①肉用牛肥育経営安定特別対策事業（(独) 農畜産業振興機構公募補助事業）**

協会と契約した肉用牛肥育農家の出荷した牛の粗収益が生産費を下回った場合に、生産者の拠出と(独)農畜産業振興機構からの補助金で造成した基金から、その差額の8割を補填する事業として実施する。但し、平成30年4月期からの1年間に限り、緊急的補填割合を9割とする。

- ・第3業務対象年間 平成28～30年度
- ・補填金交付契約締結状況 個人76戸、法人18戸 計94戸
- ・平成29年度生産者積立金造成状況

(単位：頭、円)

区分	契約肥育牛頭数	生産者積立金単価	地域基金造成負担区分		合計
			生産者積立額	(独)農畜産業振興機構補助金	
肉専用種	4,078	10,000	40,780,000	122,340,000	163,120,000
交雑種	7,296	25,000	182,400,000	547,200,000	729,600,000
乳用種	1,216	26,000	31,616,000	94,848,000	126,464,000
合計	12,590		254,796,000	764,388,000	1,019,184,000

※各区分の上段は、請求前販売により前年度単価の適用になったもの。

- ・平成29年度補填金交付状況(平成29年1月～平成30年1月販売牛)

(単位：人、頭、円)

区分	交付対象延べ人数	交付対象頭数	補填金交付額
肉専用種	0	0	0
交雑種	572	6,357	325,342,400
乳用種	67	1,211	48,024,200
合計	639	7,568	373,366,600

※平成29年1月販売牛については、精算払分のみ。

**②肥育経営安定特別推進事業（(独) 農畜産業振興機構補助事業）**

肉用牛肥育経営の収益性が悪化した場合に、平成30年4月期からは緊急的に粗収益と生産費の差額の9割を補填するために、協会と契約生産者との契約に基づき、個体登録や販売の確認、積立金の請求と受入、基金の造成等の事業を行うために必要な経費について、(独)農畜産業振興機構から補助を受けて実施する。

## 静岡県 の 畜 産 概 要

### ○平成28年次農業粗生産額 静岡県の生産農業統計

農業産出額	畜産産出額	農業産出額に占める畜産の比率
2,266億円	490億円	21.6%

### 家畜飼養動向 平成29年2月1日現在 静岡農林水産統計年報、畜産統計、食鳥流通統計調査他

#### ○酪 農

飼養戸数	飼養頭数	1戸当り飼養頭数	生乳生産量28年次
227戸	13,400頭	59頭	90,925t

#### ○肉用牛

飼養戸数	飼養頭数	1戸当り飼養頭数	牛枝肉生産量28年次
134戸	20,700頭	154頭	4,496t

#### ○養 豚

飼養戸数	飼養頭数	1戸当り飼養頭数	豚枝肉生産量28年次
108戸	110,800頭	1,026頭	19,291t

#### ○採卵鶏

飼養戸数	飼養羽数	1戸当り飼養羽数	鶏卵生産量28年次
64戸	4,493千羽	70,203羽	69,382t

#### ○肉用鶏

飼養戸数	飼養羽数	1戸当り飼養羽数	鶏肉生産量(生体)26年次
27戸	1,027千羽	38,037羽	18,996t

※鶏肉生産量は、27年次から調査中止。

#### 公益社団法人 静岡県畜産協会

〒420-0838 静岡市葵区相生町14番26-3号 静岡県獣医畜産会館内

ホームページ <http://shizuoka.lin.gr.jp/>

・畜産経営指導課 TEL 054-253-3218 FAX 054-253-3215

TEL 054-274-0210

E-mail: eisei@schiku.ecnet.jp

・価格安定課 TEL 054-274-0220 FAX: 054-253-3215

E-mail: hiiku@schiku.ecnet.jp

・家畜共同育成場天城放牧場・哺乳場

〒410-3206 伊豆市湯ヶ島 892-2

TEL 0558-85-1172 FAX 0558-85-1511